

令和2年3月23日

令和元年度 学校教育自己診断について

○アンケートの記入方式

回答の方法（保護者、生徒、教職員）

A よくあてはまる

B ややあてはまる

C あまりあてはまらない

D まったくあてはまらない

判断に困る場合は「未記入」

○令和元年度実施結果について

（１）集計数 生徒総数 983 人

	R1 総数（回収率）	H30 総数（回収率）	H29 総数（回収率）
保護者アンケート	716（全体の 73%）	514（全体の 52%）	664（全体の 66.5%）
生徒アンケート	979（100%）	981（全体の 99%）	967（全体の 97%）
教員アンケート	44（全体の 70%）	38（全体の 63%）	33（全体の 58%）

（２）保護者アンケートについて

①分析の概要

回収されたアンケートの総数が 200 件ほど増加している。これは実施時期による影響が大きいと考えられる（今年度は 1 月になってから配布）。肯定率の平均は 83.0%で昨年度に比べ 0.4%の増。例年のことだが、未回答の多い項目もめだった。質問 21～34 は全て 100 件以上だった。筆頭部分に「答えにくい質問がある」という意見もあるように、保護者にとっては見えにくい質問もある。今後は観点を絞ることで項目を減らすことも視野に入れたい。

ア高い評価をいただいた項目

全般的に例年と大きな変化はなく、おおむね各項目において高く評価していただいたと考える。学校生活（2 学級・3 友達・23 部活動）・生徒指導（16・17）のように生徒の活動をささえる根本的な項目や、15（いじめ対策）10（人権教育）20（倫理道德教育）のように教育活動の根幹に関わる項目についても高い評価をいただいた。

イ課題が残った項目

24（連絡物）25（HP）26（メルマガ）はいずれも昨年度の数値を下回った。枚方高校の取り組みについて、情報の発信をより丁寧に行う必要がある。

(3) 生徒アンケートについて

①分析の概要

肯定率の平均は 80.7%で前年度に比べ 3.3%上昇した。昨年度に引き続き、枚方高校の生徒たちは概ね本校の指導方針を肯定的に受け止め、高い評価を与えたと考えている。

ア高い評価をいただいた項目

11 (人権教育) 12 (進路指導) 14 (国際交流) 10 (社会のルール) はいずれも 90%以上の肯定率でたいへん高い評価を得た。また 29 (生活指導) も 8%肯定率が上昇した。人権・進路・国際交流・生徒指導といった本校教育の根幹に関わる取り組みに関していずれも高い評価を得られたことは今後の指導を考えるうえでもとても重要なことだと考えられる。また、36 (枚方未来学) 31 (視聴覚教材の使用) では肯定率が大きく上昇した。いずれも本校において力を入れている項目であり、今後の励みとなるだろう。

イ課題が残った項目

17 (興味深い授業)、16 (わかりやすい授業) の2項目はどちらの項目も 5%以上上昇している (17 59.3%→65.9% 16 64.1→71.8%)。ただし、B 評価率の高い項目でもあるので、今後ともいっそうの努力が必要であろう。

(4) 教職員アンケートについて

① 分析の概要

全体の肯定率は前年度に比べて 2.4%上昇し、76.2%だった。高い評価だったと思われる。11 項目〈授業 (6・7・43) 服務・規律 (39・48) 生徒指導 (17) 部活 (23) 生徒会 (22) 進路指導 (20) など〉で 90%を超え、それ以外でも対生徒の項目にはおおむね高い評価が得られた。

7 つの項目で 10%以上の上昇がみられた一方で、7 つの項目で 10%以上の下降がみられた。働き方改革が推進される中で教員同士が連携や協力をより強固なものにしていくことが今後の課題といえるだろう。また、24 (読書指導) は肯定率は低いですが、昨年度の結果を受けて課題意識をもって取り組んだ結果、図書館利用数が増えるなど効果も表れている。

(5) 筆答部分について

保護者・生徒・教員からは筆答によるご意見も多数寄せられた。すべてのご意見について、次年度に役立てられるよう職員会議で共有した。